

カエルとおたまじゃくしの親子が繰り広げる防災人形劇

取り組み易さ：★★☆

防災人形劇『おたま劇場』

「避難リュック」などをテーマにした、おとぼけ者のお父さんカエルとしっかり者の息子「おたま」による人形劇を上演し、鑑賞してもらいます。

◎目安時間：20分／回

◎実施場所：屋内
(条件によっては屋外でも可)

◎参加人数：5～30人／回

◎必要スタッフ数：2人

実施ポイント

- 1 「避難リュック」の中身や「避難経路」の注意点について、楽しい人形劇を鑑賞しながら覚えることができます。
- 2 完成しているシナリオも活用できますが、各開催団体ごとにオリジナルのシナリオをつくる方が地域特有の防災情報を盛り込むことができ有効です。



必要資器材 (目安)

資器材名	数	備考
<input type="checkbox"/> 人形 (カエル・おたま・アヒル) A	1セット	プラス・アーツよりレンタル可
<input type="checkbox"/> 持ち出し品パネル B	1セット	プラス・アーツよりレンタル可
<input type="checkbox"/> 長机	1台	舞台作成用
<input type="checkbox"/> 棒	4本	舞台作成用
<input type="checkbox"/> 暗幕などの大きな布やレジャーシートなど	2枚	舞台作成用
<input type="checkbox"/> 結束バンドやヒモ	10本以上	舞台作成用
<input type="checkbox"/> ピンマイク	2個	マイク (スタンド付) でも可
<input type="checkbox"/> スピーカー	1個	1個
<input type="checkbox"/> 延長コード	1個	必要時のみ
<input type="checkbox"/> ブルーシート	1枚	必要時のみ 3.6m×5.4m程度 鑑賞者用
<input type="checkbox"/> シナリオ	1部	プラス・アーツよりレンタル可
<input type="checkbox"/>		



事前準備チェック項目リスト

【前日までの準備】

- 担当者は事前にシナリオを読み合わせておきます。
- 人形の動き、パネルを出すタイミングなどを他の人に見てもらいながら練習しておきます。
- イベント開催時間内で何回上演するのかを事前に決めておきます。
(例：14時～、15時～)

【当日の準備】

- 簡易な人形劇の舞台を準備します。パーテーションやピアノ等を利用し、足元を見えないように工夫すれば、どのような形でも実施可能です。
- 設置した舞台で実際に人形を使って練習をしておきます。



実施内容

【呼び込み】

人形劇の上演時間が近づいてきたら、参加者の呼び込みを行います。目安は、開始時間の10分前くらいです。



【人形劇の上演】

シナリオに沿って、人形劇を上演します。

小さい子 (未就学児) でも聴くことのできる内容です。親子で参加してもらいましょう。



【シナリオについて】

学校で「避難リュック」のことを学習してきた「おたま (息子)」とおとぼけ者の「カエル (お父さん)」が避難リュックの中身を確認し合う様子が、愉快に展開されるシナリオです。他にも「避難経路」をテーマにしたシナリオなどもあります。



【持ち出し品パネルについて】

使用する持ち出し品パネルは、持ち出し品を描いた紙を割り箸などの棒に貼りつけた程度のもので、比較的簡単に作成することができます。



【振り返り・まとめ】

- ① 人形劇終了後、どのような持ち出し品が登場したかを振り返ります。
- ② 「持ち出し品なあに？クイズ」を同じ会場で実施している場合は、プログラムを紹介したり、実物で持ち出し品を用意しておいて紹介すれば、さらに子どもたちの印象に残り効果的です。

